

東京女子医大病院

# 心臓手術ミス 女児死亡

## 記録改ざん、死因隠す



記者会見で謝罪する東京女子医科大病院の林直  
院長(右) 29日、東京都新宿区の本病院で

東京女子医科大病院(東京都新宿区)で3月に心臓手術を受けた小学6年の女児(当時12)が、医師の過失で死亡していたことが29日分かった。病院側は当初、遺族に過失を隠していた。10月になって病院内の調査結果を報告し、診療記録を改ざんするなど死因を隠べいしていたことを認め、謝罪した。警視庁はこの日、院長らから事情を聴くなど捜査を始めた。

### 警視庁が捜査



平柳明香ちゃん

死亡したのは群馬県高

崎市の平柳明香ちゃん。生まれつき心臓の心房中隔に穴があいている病気で、3月2日、欠損部を縫い合わせる手術を同病院で受けた。明香ちゃん

ま、5日に死亡した。当初、死因は心不全とされたが、遺族は納得せずに調査を求めた。これを受けて病院が内部調査を実施。手術で使った人工心肺装置の操作ミスで起きた脳循環不全による脳死が死因と判明した。

調査報告書などによると、手術中、心臓と肺の血流を止めて静止状態を保つため、体外に人工心肺装置を取り付け、血液

に酸素供給などをしていった。だがポンプの回転数を長時間上げすぎたため、装置の貯血槽があふれて逆流が起き、10分以上、脳に血液が循環しなくなった。

だが手術直後、家族には「手術自体はうまくいった」と説明があり、脳障害の可能性については何も説明されなかった。

また調査報告書は、術後のICU記録に瞳孔径を

を実際より小さく書いたことなどについて、「脳障害の事実を隠べいする意図がみえる」と指摘した。

遺族によると、執刀医は隠べいの理由について、今月、墓参りに訪れた際に「手術に関係した」後輩医師を守るため「だつた」と説明したという。

明香ちゃんの父親で歯科医の利明さん(51)は「患者は元々弱い立場

事実をまかされ、つらい思いを引きのほされた悔しさをいつかは許さない」と話した。

同病院の林直院長は29日会見し、「あつてはいけないミスを起こしながら、事態をきちんと説明していなかった」と謝罪した。だが虚偽説明の理由については「確認していない」と述べた。また、今回の事故を知った時期を「6月中旬」と説明。主治医は自宅謹慎さ

女子医大小児心臓手術事故  
捜査開始／病院謝罪会見  
2001年12月30日 朝日新聞

せ、処分を検討している、という。

厚生労働省と東京都には、この日初めて報告。同省は「重大な過失が認められれば、年明け早々にも社会保障審議会医療分科会を開き、対応を検討する」としている。